

立憲民主党 さっぽろNEWS

第3回定例市議会

代表質問 うるしはら直子市議（白石区）



第3回定例市議会の代表質問が9月25日に行われ、民主市民連合のうるしはら市議が登壇。市長の政治姿勢や防災・減災体制の強化など8項目質問した。同日の本会議で、8月11日に急逝された自民党の鈴木健雄市議に対する追悼演説が行われ、ふじわら広昭市議（東区）が「札幌の街を、札幌市議会を、いつまでも温かく見守ってください」と哀悼の意を捧げた。



市民意見を踏まえた敬老パスの見直し 全ての世代に理解得る努力を

敬老パスの内容を見直した上で、当面存続するとして市の新制度案に関し、うるしはら市議は「大幅な見直しとなるため、丁寧な説明が必要」と要請。高齢化に伴い事業費が増加している中、「現行制度の見直しを検討せざるを得ないということについて、全ての世代に理解を得る努力を」と求めた。

市が公表した新制度案は、敬老パスについて、2026年度から交付対象年齢を70歳から75歳に引き上げるほか、チャージ上限額を4万円とし、自己負担割合を一律50%とする内容。また、健康につながる日常的な取り組みを通じてポイントを付与する「(仮称)健康アプリ」も導入し、いずれかを選択できるようにする。

市は5年後をめどに、敬老パスの利用状況や事業費負担の推移、アプリ導入後の効果などを検証する考え。うるしはら市議が「それらの検証が健康アプリへの全面移行ありきの議論であってはならない」と指摘したのに対し、秋元市長は「丁寧な検証に努める」と答えた。

防災・減災体制の強化 知見継承し万全な対策を

日本海溝・千島海溝地震が発生した場合、政令市として多様な役割が求められるため、うるしはら市議は「支援・応援・受援体制の強化が重要」と強調。町田副市長は、能登の被災地支援の経験から、「災害対応と行政機能の維持が同時に求められ、応援受援体制の強化

が重要と改めて認識した」と述べた上で、災害に対する国や道の動きを踏まえ、防災・減災体制のさらなる充実と強化に努めると答えた。

市は、能登半島地震の早期復旧を支援するため職員を被災地に派遣している。うるしはら市議は、その経験から得た学びや知見を継承し、今後発生し得る大地震や風水害といった災害に対し万全な対策と備えを講じることが肝要だと提言した。

インクルーシブ防災

インクルーシブ防災を進めるべきとの質問に対し、町田副市長は、市危機管理局が主体となり、庁内の研修や訓練の場などを通じて、配慮が必要な人たちへの理解が進むよう取り組んでいると報告。また、災害時に誰一人取り残されることがないように、地域全体で支え合う意識の醸成に努めたいと述べた。

インクルーシブ防災とは、あらゆる人が災害時に安全に避難し、適切な支援を受けられるようにする防災の考え方。

うるしはら市議は、札幌聴覚障害者協会白石支部と手話サークル白石手話の会が行っている、災害時の対応に関する活動を紹介した上で、「このような活動を後押しし、多様な視点から防災・減災に取り組むことは大変重要」と強調。また、危機管理局が主体となって、障がい、高齢、子どもなどを所管する各部局を統括し、インクルーシブ防災を積極的に推進すべきと訴えた。

衆議院議員選挙

公認候補内定者



みちした だい き
道下大樹
北海道 1区 中央区、南区、西区(一部を除く)、北区の一部



まつき
松本けんこう
北海道 2区 東区、北区(一部を除く)



あらい
荒井ゆたか
北海道 3区 白石区(一部を除く)、豊平区、清田区



おおつき くれは
おおつきくれは
北海道 4区 手稲区、西区の一部、石狩市、後志管内



い け だ
池田まき
北海道 5区 厚別区、白石区の一部、石狩管内(石狩市を除く)



まさひと
にしかわ将人
北海道 6区 上川管内



な お こ
しのだ奈保子
北海道 7区 釧路、根室管内



せい じ
おおさか誠三
北海道 8区 渡島、檜山管内



やまおか たつまる
山岡達丸
北海道 9区 胆振、日高管内



か み や
神谷ひろし
北海道 10区 空知、留萌管内



い し か わ
石川かおり
北海道 11区 十勝管内



えいせい
かわはらだ英世
北海道 12区 オホーツク、宗谷管内